



株式会社のびる

業務内容 建設業 創業 2014年 従業員数 28名
所在地 高知市葛島4丁目10-10

赤外線カメラ搭載ドローンとクラウドサービスの導入で事業成長に伴う経営課題を乗り越え、さらなる飛躍へ

高知県内全域で戸建て住宅・マンションをはじめ、橋梁や公的施設などの塗装や防水工事などを行っている「株式会社のびる」。最近では県外の施工も請け負うなど活躍の場を広げています。反面、現場の複数化による情報共有の難しさ、人手不足など様々な問題も。デジタル技術導入でそれらをどう解消したのでしょうか。



デジタル化担当
竹内さん

Q 御社のデジタル化の取組内容について教えてください。



クラウドストレージサービス「Box」を導入し、24時間どこからでも情報を確認、共有できるシステムを構築。出先や現場からPCやスマホで最新の情報を確認でき、施工主への対応、現場間や事務所との情報の同期化により、業務効率が上がりました。また、赤外線カメラ搭載ドローンにより、職人の技とは異なる角度からのデータ収集が可能に。これらを活用し、高知高専との産学連携による独自のデータ解析技術を開発しました。

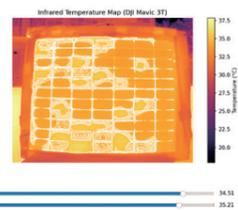
Q 抱えていた課題と、デジタル化に取り組んだきっかけを教えてください。

事業拡大による工事現場の増加で情報連携やデータの管理が難しくなりました。現場から改善を望む声が出るようになり、社内のインフラや情報管理の整備が急務だと感じてデジタル化に着手しました。社員の3分の2が職人で、熟練職人の高齢化に伴い、長年培われた高度な技術や知見の継承が課題でした。業務の属人化を防ぎ、若手へのスムーズな技術継承を可能にするため、デジタル技術の導入を決意しました。

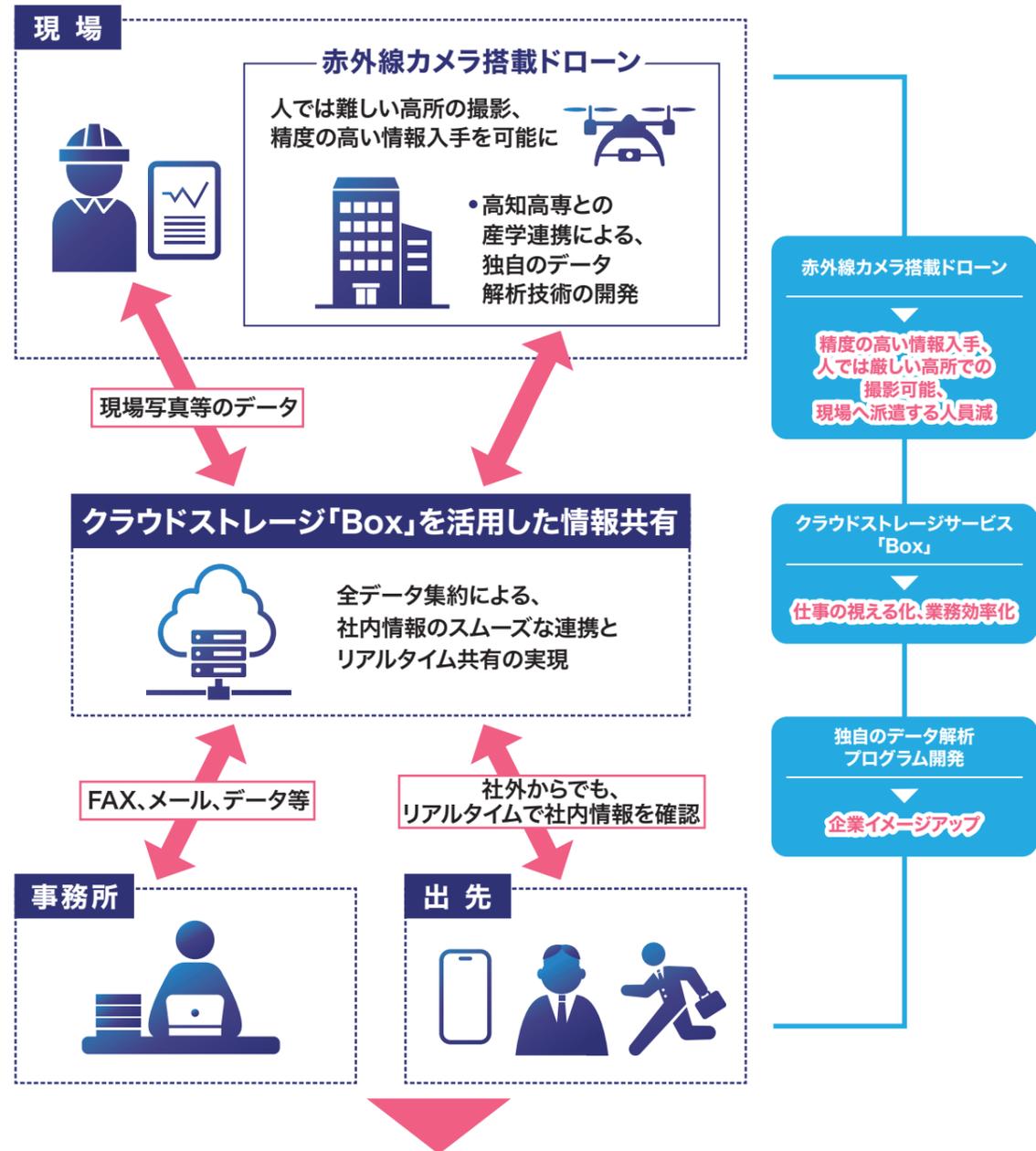


Q デジタル化に成功した秘訣を教えてください。

社内インフラの整備を会社全体で実施。全員が等しくデジタル技術に触れ、共に理解を深めていくことで、デジタル化への苦手意識を払拭し、組織全体のITリテラシーを高めました。赤外線画像の解析システムは高知高専の教授から助言を得ながら進めていきました。プロジェクトには教授の教え子たちも加わり、自らの研究成果が実社会で形になっていくことに喜びを感じているとの声を頂いています。



デジタル化の取組イメージ



取り組みの成果

- ・社員の成長とゆとりの創出
- ・情報共有の円滑化に伴う生産性向上および受注の拡大

受賞にあたって

弊社取組の革新性を評価いただき、深く感謝しております。今後はドローン活用とIT人材の育成を通じ、より魅力ある職場環境を構築するとともに、この技術を基盤として県外・海外へと事業領域を展開していきたいです。

これからデジタル化に取り組みたい事業者様へ

「デジタル化が便利なのは分かるけれど…」と、躊躇される方も多いと思います。しかし、デジタル化は人手不足による事業停滞を解消するだけでなく、「先端技術を積極的に取り入れる企業」としてお客様の関心を引き、自社のブランディング向上にもつながります。デジタル化への前向きな挑戦をおすすめします。



代表取締役
公文将博氏